

## ハリス世界株ファンド(資産成長型)の 基準価額下落について

過去2週間、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の株式市場は軟調に推移していましたが、3月9日にロシアが在庫削減と価格維持を目的としたOPECの原油減産を支持しないと発表したことから、原油価格は暴落、株式市場もなお一層の混乱を示す展開となりました。このような中、2020年3月10日のハリス世界株ファンド(資産成長型)の基準価額は、前営業日(2020年3月9日)と比べ638円下落(▲7.73%)の7,619円となりました。

表① 主要各国株価指数

	3月6日	3月9日	騰落率
米国(NYダウ)	25,864.78	23,851.02	▲7.79%
スイス(SMI)	9,736.82	9,196.60	▲5.55%
ドイツ(DAX)	11,541.87	10,625.02	▲7.94%
英国(FT100)	6,462.55	5,965.77	▲7.69%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	3月9日	3月10日	騰落率
米ドル	102.01	103.28	1.24%
スイスフラン	109.62	110.99	1.25%
ユーロ	115.85	117.57	1.48%
英ポンド	133.27	134.91	1.23%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

過去、2016年の英国EU離脱国民投票、2011年の欧州債務危機や中東不安定化でも株式市場が同種の混乱を示したことがありました。いずれも、市場は平静を取り戻し、株価も回復したという事実を再確認すべきときであるとハリス・アソシエイツ社では考えています。

一方で、ハリス・アソシエイツ社では現在の事態は流動的であると考えており、投資先企業に与える可能性について注視しているところです。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大と原油価格下落を反映して株価が大きく下落している今日の状況は、発行体の本源的価値の変動を正しく反映した値動きではありません。旅行業界に所属する企業、中国に主たる生産設備を有する企業、エネルギー関連企業などでは、足元に限れば、業績への悪影響は避けがたいものといえます。しかしながら、現在、長期的な視点で分析した場合、多くの銘柄において、本源的価値への影響は限定的であると考えています。これは、ハリス・アソシエイツ社が当該企業の長期的な将来キャッシュフローを現在価値に割り引いて合計し、本源的価値を推定しているからです。新型コロナウイルス感染拡大で投資先企業が今年に限っては20%~30%減益となることもあるかもしれませんが、むこう、5年~7年までの状況を想定すれば、絶対的影響は非常に限られていると見ています。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいますが)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003179

短期的な株価の変動が事業の本源的価値の変動を反映しているのは極めて稀な出来事といえます。本源的価値は安定的であり、短期的に株価が大きな変動を示す傾向があることと対照的です。

当ファンドで保有する企業の株価は、ハリス・アソシエイツ社が考える本源的価値に対して、株価下落の影響で割安度が大きく高まっており、直近では金融危機以来の魅力的な水準となっています。

足元の状況について考えてみても、新型コロナウイルスの感染者のほとんどは重篤化することなく、すでに回復した人も多くいると聞いています。やがて、中国の人々が仕事に戻り、サプライ・チェーンが再稼動するような状況を確認することができるようになると考えられます。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003179

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003179